

令和 7 年第 1 回金ヶ崎町総合教育会議
会 議 録

1 開会、閉会等に関する事項

- (1) 開会 令和 7 年 1 2 月 2 5 日 (木) 午前 1 1 時
- (2) 閉会 同 午前 1 1 時 5 5 分
- (3) 場所 役場 3 階庁議室

2 出席者の職及び氏名 (5 名)

職名	氏 名
町長	高橋 寛寿
教育長	千葉 和仁
教育長職務代理者	高橋 玲子
教育委員	小野 タマ子
教育委員	鈴木 雅司

3 欠席者の職及び氏名 (1 名)

職名	氏 名
教育委員	八重柏 知史

4 説明等のため出席した職員 (4 名)

所属・職名	氏 名
教育委員会事務局 教育次長	稲葉 郁子
中央生涯教育センター 所長	鈴木 敏郎
教育委員会事務局 教育次長補佐	渡邊 久美子
教育委員会事務局 副主幹	松本 浩和

5 協議の概要

(1) 開会

稲葉教育次長が開会を宣言。以降、稲葉教育次長が進行、(4) 協議については、高橋町長が議長となり進行。

(2) 町長あいさつ

定例会に引き続き会議に出席いただきありがとうございます。本日の会議では、当町の少子化の現状をご説明し、それをふまえてご検討をお

願いたいと思っております。

日本の少子化は、かつてないペースで進んでいます。その中で、金ケ崎の子ども達にとってどのような教育が望ましいのかということを議論していただきたいと思えます。

(3) 教育長あいさつ

本日は、先ほどの定例会に続いての会議にご出席いただきありがとうございます。少子化は避けて通れないことであり、今後、検討、協議、研修しながらゴールを目指したいと考えておりますのでよろしくお願い致します。

(4) 協議

高橋町長が議長となり、協議を進行した。

初めに、松本副主幹から資料に基づき、今後の小中学校のあり方について説明した。

その後、高橋町長が出席委員に質問や意見を求め、まとめて高橋町長、千葉教育長、事務局から回答し、協議は終了した。その他意見等なく、高橋町長は議長を降任した。

<協議内容>

【鈴木委員】先日、以前自分が勤務したことがある学校から閉校式の案内をいただき出席してきた。本来の予定では、4年前に閉校しているはずだったが、さらに4年かかったようだ。この頃感じているのは、統廃合には地域感情も大事ではあるが、子どもにはスピード感も大事だということ。

スクールバス、学童の配慮がしっかりできていればあまり反発はないのではないか。

定住人口の確保に向けた取組としては、最悪の人口減少ペースのシナリオを止めるための工夫が必要だと思う。

また、学校統廃合のあとは、廃校の活用も行ってほしい。奥州市の閉校した小学校には、関東の企業が入っているようだ。借り手がいれば草刈りなどの施設管理もやってもらえるし、施設が有効活用されてよいと思う。

家の近所に工場の寮があるが、9割が県外ナンバーの車。そういう若い人を金ヶ崎の定住者として確保できたらよいと思う。

【小野委員】町では宅地開発が進み、新しい家が増えているが、地域的に偏りが見られるのではないか。

小学校のこともあるが、幼稚園についてのほうが先なのではないか。要望活動のことも聞いたが、やれること、やれないことを回答する必要がある。

【高橋職務代理者】令和6年度の出生が60人ほど、令和7年度は70人ほどということで、子どもが減ることははっきりしている。今後は、70人を維持できない時は統合するなど、ある程度見通しをもっていく必要があると思う。

統合のスタイルについては、夏に視察した福島の義務教育学校とまではいかななくてもよいと思う。地域教育は金ヶ崎の小・中学校でそれぞれしっかりやっており、義務教育学校でなくてもできる。

問題は統廃合する時期で、いつ1校にするのか、何年後にどうするかということを決める必要がある。先日、西小学校時代の教え子から、西小と永小の統合の話聞いた。保護者も気にしていると思う。

【高橋町長】さまざまなお意見等いただきありがとうございます。

まず、人口減少対策についてですが、働く場所と住む場所の確保を計画しており、工業団地の拡張（45ヘクタール）や住宅用地の整備を行う予定です。昭和30年の合併当時、人口は17,000人でした。昭和45年には14,700人でいったん減少しましたが、平成17年には16,500人に増えて、現在は15,000人ほどです。昭和50年頃の人口構成は、きれいなピラミッド状でしたが、現在は若年層が少なく、高齢層が多いびつな形になっています。

町では、定住を促すため、学校給食の無償化に取り組み転入者を確保しようとしています。

工業団地の就労人口は約6,000人、そのうち町民は15%程度です。あと5%上げたいと考えており、家賃補助や利子補給などを行っているところです。

廃校の活用については、建物が空く前提で交渉するとうまくいきやすいようですが、町では、まだ何も決まっていないので、すべてこれからになります。

住宅地のことにつきましては、町の土地利用計画で住宅用地を決めており、偏っているといわれればその通りです。宅地は宅地で、農地は農地でまとめるというのが国の方針でもあり、そうなっています。町の中心部は人が増えています。西部地区から街・南方地区に家を新築して引っ越してくる人もいます。農業で生計を立てられる、経営ができる状況にないと、農村から人はいなくなってしまう。そうすると田んぼを維持することもできなくなります。解決に妙案はなく難しいと感じているところです。

【千葉教育長】教育委員会としては、学校のあり方の検討を始めたところであり、具体的に西小学校と永岡小学校を統合するなどということを示したこともありません。今後、検討を進めていくうえで、意見を聴く会を設ける必要があると思っています。人口減少については、危機感をもちながら、一番は子どものために何がいいのかを考えなければいけません。

【高橋町長】状況についてはご理解いただけたと思います。今後は、いつ、誰に、どのように説明するか検討し、地元理解を得ていきたいと思えます。

また、出生数が減少しているのも、子どもの数が減ることは明らかです。そこで、幼児教育の保育園化が求められているということは行政として悩ましいところです。

(5) その他 なし

6 閉会